

## 教員養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること

### (1) 教員養成の目標

仙台大学は、建学の精神「実学と創意工夫」を基盤に「スポーツ・フォア・オール」を基本理念として、学生一人一人の無限の可能性を導き出す真の人間形成を促す教育を展開し、体育学の基盤的な分野、すなわち、体育・スポーツ及び健康分野において専門的な知見・技能を有して活躍できる人材を養成することを目的としている。この基本理念・教育目標に則り設定されたディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーに基づき、本学としての特性を活かし、教育分野を含む体育・スポーツ及び健康領域での指導に携わる人材育成を行っている。

本学の教職課程においても、この基本理念のもと、教員として必要な資質能力を身につけ、実践的・創造的で高度な専門性を有した教員の養成を目標とする。

### (2) 目標達成のための計画

教員養成の目標を達成するために、各学科の教職課程において教職の専門性、教科の専門性を高めるとともに、教職支援センターを組織し、教員を目指す学生の支援を行い、学生が教職の専門性を自ら主体的に修得していくことを支援する。

- ① 教職専門科目や教科科目に関する幅広い基礎知識を身につけ、深めていくために、教職支援センター主催の「教採塾」等の教職支援プログラムを提供する。
- ② 柴田町教育委員会との連携のもとに、学生が自分の空き時間を利用して柴田町内の小中学校で授業補助を行う「未来先生」を展開し、学校現場で生じる問題や地域社会における課題を見出し、学校現場の理解や教職として必要な知識などを身につけさせる。
- ③ 体育実技の能力向上と学生同士の学び・探究の場として「チーム教採」を設置し、実技練習を通じた学生主体の学びのコミュニティの形成を促す。